

## 【2010年度事業報告】

きょうとグリーンファンドは発足後10年を迎え、途切れることなく15ヶ所目のおひさま発電所設置とともに環境学習を進めてきました。気候変動の影響は、日本でも暑く長い夏やゲリラ豪雨など顕著なものとなり、京都でも例外ではありません。また、3月11日の東日本大震災と福島原発の事故は、きょうとグリーンファンドが目指してきた持続可能な社会の方向をさらに明確なものとしたものとなりました。

10周年を機に、今までとは違った層へのアプローチを意図し、絵本と10年の活動をまとめたパンフレット(2000部)を制作しました。

市民共同発電所は、新たに1ヶ所10kWを設置し、15ヶ所となりました。15号機となった自然幼稚園は、右京区で夢窓幼稚園について2ヶ所目の施設です。

環境学習は子ども対象の腹話術、自然観察会が園のスケジュールとして組み込まれるようになりました。スタッフを対象とした紙芝居を使った研修は、論文としてまとめ土木学会環境システム研究会で発表しましたが、実施は1ヶ所にとどまりました。

2008年5月1日から2010年4月30日まで認められている認定NPO法人ですが、2010年3月25日付で再度認定され、空白期間を生じることなく2015年4月30日までの認定期間となりました。

「京グリーン電力運営協議会」が発足して2年目、協議会メンバーとして会議に参加する他、今まで通り証書代金の一部はおひさま基金として、自然幼稚園のプロジェクトに活かされました。

とりわけ昨年からの大きな課題となっている財政基盤の強化ですが、補助金の申請などに努力したほか、エコポイント等の制度による思いがけない寄附に助けられました。しかしながら、収支は依然厳しい状態であることに変わりはありません。事務局体制は、将来を見据えた検討が必要です。

### 太陽光発電設備設置事業

京都市右京区の自然幼稚園に15号機を設置、費用は「おひさま基金」の他、関西グリーン電力基金、新エネルギー地域導入支援事業助成金、京都地域創造基金、京グリーン電力運営協議会からの寄附金などを活用しました。

### 広報活動

#### ① ニュースレターの発行(5月、11月)

きょうとグリーンファンドの活動状況・自然エネルギー・節電・省エネルギー・市民共同発電所などに関する情報を会員・一般に報告・発信しました。2回発行。

#### ② 印刷物作成

- ・ 10周年記念として絵本(B6判 モノカラー 24ページ)を一般財団法人地域公共人材機構/musubi designのご協力により2000部制作。既設のおひさま発電所となった施設のほか、京都府下の幼稚園・保育園に配布しました。(1000部程度配布済み)
- ・ きょうとグリーンファンドパンフレット(B6判)をmusubi designのご協力を得て2000部制作、配布しました。(1000部程度配布済み)
- ・ 太陽光発電の基礎知識を内容としたチラシ(「自然幼稚園」版)を250部制作、配布。
- ・ チラシ作成(おひさまプロジェクト参加(「自然幼稚園」版)、京都市立京都御池中学校学生服寄付、家庭でできる温暖化対策)

#### ③ 市民活動交流の場や環境に関する各種催しに参加

9/18・9/19 SKY ふれあいフェスに出展(パルスプラザ)

11/13・12/11 太秦手づくり二土の市に出展(自然幼稚園園庭)

#### ④ ホームページを使った情報の発信

きょうとグリーンファンドの活動状況・節電・省エネルギーについての情報などを会員、一般市民に向けて発信しました。ブログの更新(21回)についても努力しました。

エコポイント寄付システムのページを増設しました。

#### ⑤ 「おひさま発電所」間のネットワークを目的に「おひさまだより」の発行を5月頃予定していましたが、発行には至りませんでした。

### 学習活動

#### ① おひさま発電所見学会：自然幼稚園点灯式の際、発電設備見学会を開催。

富山県砺波市議員団 視察受入(向島保育園)

## ②環境学習

- ・腹話術（7件）温暖化防止や環境への取り組みをテーマとした子ども対象のプログラム  
陵ヶ岡保育園（5/25） 大宅保育園（6/28） つくし保育園（9/15）  
かがやき保育園（2/1） 大宮保育園（2/15） あげぼの保育園（3/8）  
春日野園（3/15）
- ・自然観察会（5件） 講師：板倉豊理事長  
妙林苑（5/13） 京都御苑 つくし保育園（6/4） 園庭で  
陵ヶ岡保育園（10/23） 山科疏水 大宮保育園（11/5） 深泥ヶ池で  
妙林苑（11/6） 船岡山
- ・紙芝居の絵を使って話を作ってもらおうスタッフ研修（1件）  
「おひさまありがとう！」 陵ヶ岡保育園（6/25）
- ・おひさま発電所設置の意義についてのスタッフ研修（1件）  
自然幼稚園（9/6）
- ・その他の環境学習（3件）  
京都市教育委員会の職員研修（6/11） 紙芝居の絵を使って話をつくるWS  
アースガーデンスタディツアー（6/24）  
京都御池中学校での環境学習（12/3）

## 連携事業

- ①「京グリーン電力運営協議会」に協議会メンバーとして参加。証書代金の一部（おひさま基金への寄付）は、自然幼稚園のプロジェクトに活用しました。  
環境価値分を証書化したおひさま発電所は、大宮・かがやき・陵ヶ岡・夢窓・あげぼの・春日野園・法然院・アースガーデン・清仁・清心・大宅の11箇所となり、43,500 kWh分の証書が販売されています。

## 助成を受けた事業

- ①NEDO 新エネルギー等非常利活動促進事業費補助金の交付を受け、「省エネでつくろう！おひさま発電所 ～みんなで防ごう！ 温暖化」事業を実施、絵本制作とおひさま発電所設置の普及啓発活動を行いました。
- ②地域創造基金事業指定助成プログラムの指定事業に採択され、「京都で広げるおひさまエネルギープロジェクト～見てわかる自然エネルギー、オリジナル発電表示盤を幼稚園に！」として自然幼稚園おひさまプロジェクトの発電表示盤の費用の一部として活用しました。

## 寄付について

- ①ポイント寄付、Web 寄付など様々な媒体を使った新しい寄付の仕組みも始まりました。
  - ・エコポイントの寄付（家電エコポイント（489,423円）住宅エコポイント（8,374円））
  - ・オンライン寄付サイト Give One を通じての寄付（41,501円）
  - ・じゃらん Net のポイント寄付（215,000円）

## 協力・連携

- ・「気候ネットワーク」、「環境市民」、「東本願寺と環境を考える市民プロジェクト」、「自然エネルギー学校・京都」、「京エコロジーセンター」、「京のアジェンダ21フォーラム」「KES 環境機構」「京都府地球温暖化防止活動推進センター」、「京グリーン電力運営協議会」、「京都グリーン購入ネットワーク」「子育ては親育てみりのもり劇場」「京都御池中学校おひさまプロジェクト」「株エコロ21」以上の団体と協力、連携し、活動を推進しました。
  - ・「make the rule キャンペーン」に参加をしました。

## その他

- ・本年度発行の京都市中学校環境副読本作成に協力しました。

## 事務局の運営について

- ・事務局の体制は、事務局担当理事、事務局スタッフ2名、会計（有償ボランティア）の計4名です。以前より改善されたものの体制としては不十分で、将来の事業展開などを考えた検討が必要です。